

新生SC経営士会スタート!

2018年5月よりSC経営士会の組織体制が一新されましたので、SC経営士の皆様へ、その概要をお知らせ致します。

SC経営士会には27年の歴史があり、SC経営士の数も、現在は600名に及び、構成メンバーの属性や職務も多様化しております。またSCを取り巻く環境も大きく変化していることから、SC経営士の専門的知見活用が望まれる課題が増加しています。それとともに、SC経営士委員会の小委員会的な位置づけにあったSC経営士会のあり方や内部体制、またSC経営士委員会の役割と存在意義を再考する時期を迎え、1年間に渡って幅広い検討が行われました。

その結果、以下3つのポイントを重視して組織の改編と活動内容の見直しを行うこととなりました。

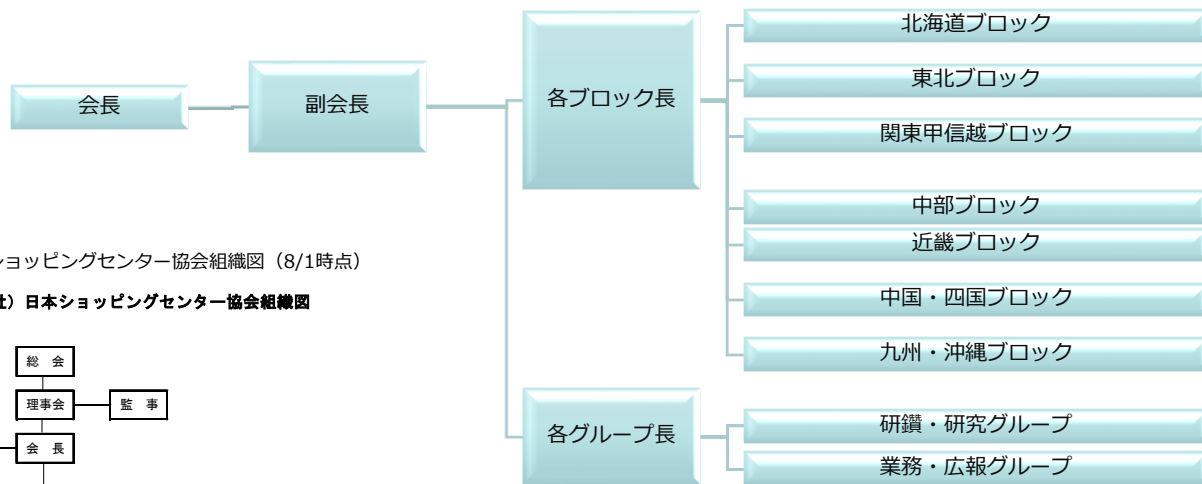
- (1) SC経営士会内部体制を強化
- (2) 協会のシンクタンクの機能を担う
- (3) 自律的かつ機動的に活動する

今回のSC経営士会ニュース第1号では、新生SC経営士会の概要と変更の要旨をお伝えしたいと思います。

今後は、新設された業務・広報グループより、この「SC経営士会ニュース」を定期的に発信させて頂く予定です。各ブロックでの活動内容を共有させて頂くほか、SC経営士の各地での活躍を紹介させて頂きたいと考えております。

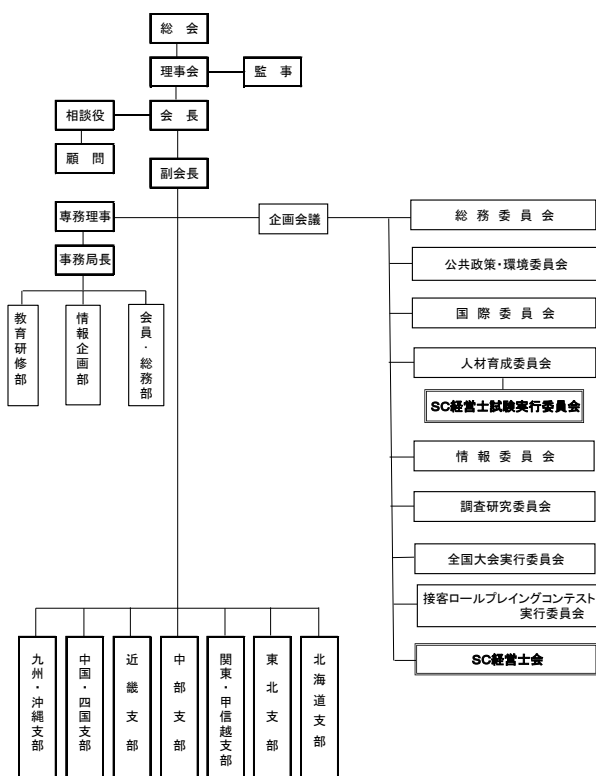
これまで以上にSC経営士間の交流が活発化し、より有意義な活動ができるよう、名簿の更新などにも取り組み、まずはSC経営士相互の情報共有に努めたいと考えておりますので、宜しければ是非ご意見をお寄せください。

※図①：SC経営士会・新組織図



※図②：日本ショッピングセンター協会組織図 (8/1時点)

(一社) 日本ショッピングセンター協会組織図



今回の組織改定により、SC経営士会には新たに2つのグループが新設されました(図①参照)。

「研鑽・研究グループ」は研鑽のためのセミナー等の各行事を企画立案します。またSC協会の各委員会から委嘱されたテーマ、ならびに独自のテーマに関して相応しいSC経営士を選出し、研究を行います。

「業務・広報グループ」は、事務局と連携してSC経営士会が円滑に活動するための調整を担うほか、各行事や活動の記録と発信、ビジネスフェアへの出展、冠講座の企画などを担当します。本ニュースも業務広報グループが作成しています。

今後も各ブロックでの活動内容などを共有させて頂くことによって、SC経営士相互の交流が活発化するように、定期的に情報を発信していきます。

ご意見・ご感想はこちらにお寄せください。
SC経営士会 業務・広報グループ 田部井 ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp
日本SC協会 SC経営士会事務局 sckeishikai@jcs.or.jp